



鍾秀だより

南陽市立宮内小学校
南陽市宮内 3415 番地
電話 47-2106
校長 吉水 順一

非日常体験を味わった自然体験学習（5年生）

6月27日・28日の一泊二日で、5年生が飯豊少年自然の家での自然体験学習に行ってきました。梅雨の真ただ中で、「雨が降らないかな。」「猛暑続きで熱中症にならないかな。」などと心配していましたが、当日は暑くもなく寒くもなく、ちょうどよい天候のもと実施することができました。

出会いの集いで所長さんの話や野外炊飯の説明に真剣に耳を傾け「しっかり聞こう」という気持ちが表れていました。一日目の昼食は野外炊飯でカレー作り、不便な中での活動で、予定より時間がかかりましたがどの班もおいしいカレーに仕上げていました。（スープカレーではなかったです）

午後からは、トーチ棒を作ったり、ベッドメイクをしたりとほぼ予定時間とおりに終え、18時30分からキャンプファイヤーを行いました。

二日目の、「牛乳パック DE ホットサンド」という活動で朝食をとった後、マイスプーンづくりを行い、10時から追跡ハイキングに出発しました。ハイキングでは、通ったことのない山道を、地図とポイントを手掛かりに仲間と話し合いながら安全に歩くことができました。途中、道に迷ったり、虫に遭遇したりということがありましたが、全員無事にゴールできました。

別れの集いでは、非日常の生活を仲間とやり切った達成感からか、きりっと引き締まった顔になり、大きく成長した様子が伺われました。

この体験を日常の生活に生かして「経験」に昇華できるよう日々の教育活動で力を付けていきたいと考えています。5年生、よく頑張りました。



漆山小6年生と交流学習

6月27日（木）、来年度中学校で一緒に生活する漆山小学校6年生11名と交流学習を行いました。3校時目に出会いの活動として猛獣狩りなどのレクリエーション、4校時目は外国語の学習、そして一緒に給食を準備しての会食。同じ教室で、一緒に生活できたことは有意義でした。これからも交流活動を企画し、仲間づくりを進めていきます。

19日は授業参観・学級懇談会です

7月19日（金）に授業参観・学級懇談会を行います。1学期の子どもたちの成長の様子をご参観いただきますようよろしくお願いいたします。また、授業参観後学級懇談会を行います。同じ教室で学習している子どもの保護者同士の交流や担任の考えなどを共有することで、よりよい学級づくりに生かしていきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。また、駐車場（校舎東側駐車場・ふれあいの丘）に限りがありますので、極力車での来校はご遠慮ください。



路上への違法駐車や個人敷地内への無断駐車はご遠慮ください。

夏さがしに出かけました（1年生）

7月3日（水）に、山口吉子さんを講師に迎え、1年生が学校の周りの「夏さがし」を行いました。校門を出てすぐの「大銀杏」や双松公園に出かけました。山口先生から、草花の名前や特徴などを教えていただきました。ギンギンなどの草を抜いてなかなか抜けないことを確かめたり、ブタナやオオバコなどで草相撲をしたりしました。



算数の授業研究（2年生）

7月9日（火）に、山口華奈教諭の学級（2年1組）で算数の授業研究を行いました。「水のかさのたんい」という単元で、子どもたちが持参した容器はどれくらいの「かさ」があるのか、それに見当をつける学習でした。「1Lくらいかな」などとおおよその見当をつけ、それを実際に調べていく活動です。おおよその量・数「量感」を養うことはとても大切で、日常生活にも生かされる力です。家庭でも、これはどれくらいかななどと問題を出してみてもいいでしょうか。



紫金園見学（3年生）

7月3日（水）に、社会科の学習の一環で赤湯の「紫金園」さんにおじゃましてブドウ栽培の様子を見学してきました。ブドウ農家の方が、1年間でしている仕事やおいしいブドウをつくるための工夫や努力を教えてくださいました。樹齢100歳を超えるブドウの木があることや年間3000キロの収穫があることなど驚きと発見がたくさんありました。



千代田クリーンセンター見学（4年生）

6月21日（金）に、高島町にある千代田クリーンセンターの見学に出かけました。何気なく捨てている「ごみ」がどのように集められて、処分されるのかを詳しく学習することができました。また、リサイクルできる「資源ごみ」について説明していただき、ペットボトルなど再利用できるものもあることを知ることができました。



7月24・25日は熊野大社の例大祭です

今年も、熊野大社の例大祭が近づいてまいりました。6年生の「総合的な学習の時間」で伝統ある宮内の祭りについて詳しく学習をしています。その一環として、8日（月）に「子供みこし」の各地区の頭取の皆様にご挨拶に子供みこしの歴史や子どもたちに伝えたいことを話していただき、たくさんのお子様に参加してもらいたいという思いを語っていただきました。また、「獅子児保存会」の高橋会長さんからは、「稚児舞」や「梵天ばよい」の由来について詳しく教えていただきました。その中で、年々「獅子児」として梵天ばよいに参加する子どもが減少していること



についても触れられました。「地域の伝統行事は人から人へ伝えていくものです。地域の皆さんの協力なしでは難しいので、ぜひご理解いただきご協力を賜りたいと切に願っています。」とおっしゃられていました。

学校では、24日・25日を休業日にして、子どもを地域に返し、地域の一員として例大祭に関わってもらいたいと考えています。25日の子供みこしは、子供会育成会が中心になって活動すると思われませんが、進んで参加するようお声掛けをお願いいたします。また、獅子児の活動については、公民館に申し込みいただくと参加が可能ということですので、男子児童限定とはなりますが伝統ある「梵天ばよい」を体験してみてもいいでしょうか。

獅子児申し込み：宮内公民館館長代理まで 47-3112（7月16日まで）